

# 「TPP交渉、撤退しかない」と空知はしる

森さん：キャラバンでJA組合長らと懇談

日本共産党の森つねと北海道国政相談室長は4月、「TPP反対を貫きましょう」と、稲作が中心の空知地域で宣伝・対話キャラバンに取り組みました。

美唄市では、長谷川吉春、吉岡文子両市議とともに市内の2つの農協を訪問し、意見交換しました。

森氏は、「オバマ大統領の来日をてこに、TPP交渉に前めに妥結しようという動きがあるが、絶対に認められません」と述べ、紙智子参院議員が国会で日豪EPAでの大筋合意の問題を取り上げ、政府を批判した経過を伝えながら、「今ががんばり時です。力を合わせてTPP参加を阻止しましょう」と激励しました。

「JAみねのぶ」の伊藤俊春専務理事は、「北海道は農業が基幹産業です。農協は反対していく責任があります。あきらめたら終わってしまいます。党派を超えて働きかけていきたい」と述べました。

JA美唄の村上利雄代表理事組合長は、「農協としては組合員の先頭に立ってがんばっていききたいが、交渉内容が明らかになっていないので受け身になっているのが現状です。農協は安



(JA組合長と懇談する森氏ら＝4月17日、美唄市)

全、安心の作物を供給することが使命です。それを損なうことには反対。国会決議にもとづき、交渉からの撤退を決断すべきです」と力を込めました。

森氏は「TPPは農業だけの問題ではありません。私たちが阻止に向けて断固がんばり抜きます」と党の決意を伝えました。

## 空知・留萌 11 農協を訪問

キャラバンで訪問対話した農業協同組合（カッコ内は所在地）は次のとおりです。

JA新砂川（砂川市）、JA滝川（滝川市）、JAピンネ（新十津川町）、JA北空知（深川市）、JA北いぶき（秩父別町）、JA南るもい（留萌市）、JAみねのぶ（美唄市）、JA美唄（美唄市）、JAそらち南（栗山町）、JA長沼（長沼町）、JAいわみざわ（岩見沢市）。このほか栗山町では副町長、総務課長、産業振興課長と懇談しました。

## 紙議員の国会質問に「そのとおり」

森氏はJA組合長らとの懇談で、農水委員会での紙議員の質問を伝える国会議員団事務所ニュース（No. 6）を紹介しました。日豪EPA「合意」について政府を追及する内容で、「政府の答弁はこのとおりいい加減なもの」「明らかに国会決議違反です」と話しました。

組合長らはうなずいていました。ある農協幹部は「国会の批准なんてできない」という紙質問について、「そのとおりですよ」と話しました。

## 北海道つぶし許されない 街頭宣伝に市民から激励



(訴える森氏＝4月15日、砂川市)

森氏はTPPキャラバンで12カ所の街頭宣伝をしました。「アメリカの企業の利益のためには、暮らしや命を守る仕組みもなくそうというのがTPPです」「自民党の公約にも、国会決議にも反しています」と力を込めて訴えました。

JA新砂川のショッピングセンターA i A i（あいあい）前で「TPP交渉からの撤退を決断すべき時です」と訴えると、買い物客らが立ち止まりました。買い物に来ていた女性からは、激励の差し入れがありました。